



道をゆずる



左の写真を見てください。詫間中学校前の用水路横の自転車と歩行者専用的一本道です。写真のように自転車で並進をしまうと、反対側から来た自転車や歩行者が通るスペースがなく、危険を感じさせてしまいます。自転車に乗る時のルールとマナーについて次の4点を守ってください。①ヘルメットをきちんとかぶる。②並進はせず、一列で走行する。③自転車をきれいに並べてとめる。④歩行者、他の自転車、自動車に気を付け、道をゆずる。

自転車に乗るときは、歩行者に気を付ける義務があります。あくまでも歩行者優先です。ちなみに、マナーという言葉は、国語辞典では「態度」とか「礼儀作法」と説明されていますが、要するに「相手の気持ちを考え、それを態度で表す」ことではないでしょうか。自転車に乗っているとき、あなたは、近づいてくる歩行者、自転車や車を運転している人の気持ちを考えたことはありますか？相手の安全や気持ちを考えて道をゆずったことはありますか？ゆずられた人はもちろん、ゆずった人もさわやかな気持ちになります。それがマナーです。あなたも、「道をゆずる」ことのできる、さわやかな詫中生になってください。

3人のレンガ職人の話

世界中を回っている旅人が、ある町はずれの1本道を歩いていると、一人の男が道の脇で難しそうに顔をしながらレンガを積んでいました。

旅人は、その男のそばに立ち止まってたずねました。「ここでいったい何をしているのですか？」

すると、男はこう答えました。「見ればわかるだろう。レンガ積みをしているのさ。毎日毎日、雨の日も強い風の日も、暑い日も寒い日も1日中レンガ積みだ。なんでオレはこんなことをしなければならないのか、まったくついてない」

旅人は、その男に「大変ですね」と慰めの言葉を残して、歩き続けました。

しばらく行くと、一生懸命レンガを積んでいる別の男に出会いました。しかし、その男は、先ほどの男ほどつらそうには見えませんでした。

そこで、また旅人はたずねました。「ここでいったい何をしているのですか？」

すると、男はこう答えました。「オレはね、ここで大きな壁を作っているんだよ。これがオレの仕事でね」

旅人は「それは大変ですね」と、いたわりの言葉をかけました。

すると、意外な言葉が返ってきました。「なんてことはないよ。この仕事でオレは家族を養っているんだ。この仕事があるから家族全員が食べていけるのだから、大変だなんて言ったらバチが当たるよ」

旅人は、その男に励ましの言葉を残して歩き続けました。

さらにもう少し歩くと、別の男がいきいきと楽しそうにレンガを積んでいました。

旅人は興味深くとずねました。「ここで、いったい何をしているのですか？」

すると、男は目を輝かせてこう答えました。「ああ、オレたちのことかい？オレたちは歴史に残る偉大な大聖堂をつくっているんだ」

旅人は「それは大変ですね」と、いたわりの言葉をかけました。

すると男は、楽しそうにこう返してきました。「とんでもない。ここで多くの人が祝福を受け、悲しみを払（はら）うんだ！素晴らしいだろう！」

旅人は、その男にお礼の言葉を残して、元気いっぱい歩き始めました。

